

グループ発表の内容（第6回絆研修① 令和3年7月4日）

◇グループワーク①

誰が参加するのがよいでしょうか。

- ・本人、妻、娘、病院医師、病院看護師、MSW、ケアマネ、理学療法士、サービス事業所、福祉用具専門員、かかりつけ医、薬剤師、管理栄養士、息子（オンラインで）。
- ・MSWを中心に必要な職種へ声掛けをする。

どのようなことに配慮しますか。

- ・医療面では病院医師から在宅医へスムーズにつなげる。
- ・家族と本人、ケアプランをあげてこられたサービス提供者の意思を再確認し統一する。落としどころも大事。
- ・ケアマネから提示のあるケアプランを再確認する。
- ・夫婦二人暮らし且つ家も古いので自宅へ家屋訪問し調査してはどうか。
- ・退院後に使用するサービスについて、事業所、本人、医療機関で共有した方が良い。
- ・サービスについてはどのくらいの利用料がかかるかMSWからお伝えする。
- ・退院後の生活がイメージできるような具体的な提案を。
- ・本人は強がっているけれど、本当は不安もあるのではないか。本人の趣味などを含めた退院後の生活が実現可能かどうかも含めて提案できるよう準備が必要。
- ・退院後の食事について、栄養面の配慮が必要ではないか。
- ・カンファレンスの中で、家族と本人の意向のすり合わせを行う。
- ・リハ職からの意見を聞きながらベッド等福祉用具の選定を。
- ・本人の気持ちを一番に重視する。
- ・妻の不安や負担を軽減する方法を考える。
- ・本人、ご家族に自宅に帰ってからのイメージをしっかりとっていただく。具体的スケジュールを明確にしていく。退院前に外泊しても良いと思う。
- ・病態のコントロール、日常生活をどう組み立てていくか考えていくことも大事。

◇グループワーク②

違う職種を体験してどのように感じましたか。

(本人役)

- ・退院後のイメージがしにくいので、先の見通しを説明いただき安心できた。
- ・要所要所で気持ちを確認してもらえるとありがたい。

(妻役)

- ・素人なので紙に書いたものが用意されていた方が、今後の在宅生活のことや注意点が分かりやすい。
- ・いきなりだと難しい、本人がいると話しにくい時もあるので事前に話を聞いてほしい。

(司会役)

- ・難しかった。十分に情報共有できたか不安。

(ケアマネ役)

- ・カンファレンスの中で決定したことがあったとしても、退院後でもいつでも変更しながらできますよ、とお伝えすることで本人さんの安心につながるのではないか。

(MSW 役)

- ・状態を維持するための調整をすることの難しさや大変さを感じた。普段は意識していないことに気付いた。

(全体で)

- ・限られた時間で話し合うことの難しさを感じた。

(MSW として)

- ・実際の退院前カンファレンスで困ったときはすぐにケアマネに話を振っていたなど反省している。カンファレンス前のケアマネとの情報共有の大切さを感じた。

「退院前カンファレンスの流れ」についてどのように感じましたか。

・流れが決まっていると円滑に進む。自分の発言する順番が予め分かっていると議論に集中しやすいと感じた。

- ・都度、本人や家族の気持ちを確認することが大事。
- ・司会役が上手に振って下さったので話しやすかった。
- ・言葉のチョイス。専門用語を使ってしまいがちになる。
- ・(家族役) 気持ちを聞いてくださって寄り添いを感じた。カンファレンスが安心できる場、環境だった。